

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年4月21日

COVID-19パンデミック中に米国刑務行政の人種差別が悪化した

【松崎雑感】

アメリカでは、1600年代（徳川時代）から、アフリカの人々を奴隷として搾取した歴史があります。西部劇の映画では、アメリカ先住民とともに、アフリカ系アメリカ人の問題もしばしば取り扱われています。1860年代にたてまえとしての「奴隷解放令」が出されましたが、1965年の公民権法の制定により、法律的には人種平等が保障されました。しかし、現実の社会生活と行政では、白人以外の人々を差別する根強い動きが現在まで続いています。アメリカの政府は、数百年前からの人種差別を反省して、差別のない社会を目指しているというスタンスは明らかです。一方日本では、たった100年ほど前に顕著となった韓国、中国は日本の属国である、政策をいまだに正当だった主張する、過去に目を閉ざした主張が幅を利かせています。コロナと人種差別、民族差別など、多くの未解決の課題が私たちの前にありつづけています。

COVID-19パンデミック中に米国刑務行政の人種差別が悪化した

Vidal Valero M. **Racial inequalities deepened in US prisons during COVID** [published online ahead of print, 2023 Apr 19]. *Nature*. 2023;10.1038/d41586-023-01311-7. doi:10.1038/d41586-023-01311-7

黒人とラテン系の人々の収容率が増加した。これは主に量刑の違いによる

COVID-19パンデミック中、米国史上最大の受刑者の減少が見られた。これは主に白人の量刑が軽くなったためのものである。

パンデミック初期の2020年に、黒人とラテン系の人々の受刑者の比率が増加した。一方白人の比率は減少を始めた。最新の本誌論文によれば、これは主に白人に対する量刑が軽くなったためだという驚くべき事実があるという。

ハーバード大学の社会学者ロバート・ Sampson氏は「この20～30年の量刑と人種格差が徐々に減少していることを踏まえるなら、若干意外な結果だ」と語った。

刑務所収容者の減少

パンデミックの最初の1年で米国の受刑者数は17%減少した。全米の裁判所がほとんど閉鎖され、新規受刑者が30%減り、およそ20万人が釈放された。

この変化の内容と原因を明らかにするために50州とワシントンDCの最近20年間の刑務所の記録を生物学、数学、データサイエンス、歴史の専門家が分析を行った。

黒人とラテン系の人々は、米国の平均よりも多く受刑者となる率が高かった。2013年頃から受刑者に占める黒人の割合は減少していた。

2013年3月、黒人は受刑者の41.6%を占めていた。2020年3月、この比率は38.9%となっていた。しかし、行動制限が強化された2020年11月には、黒人受刑者の比率は39.8%と増加傾向を見せた。

驚くべき逆転

この変化について、専門家は収監率、釈放率、量刑の人種差を分析した。習慣率と釈放率に明らかな人種差は見られなかった。

しかし、黒人が他の人種よりも量刑期間が長いことが分かった。「黒人は白人よりも20%長かった」とノースウエスタン大学ネットワークサイエンティストのブレナン・クライン氏は述べた。

また、ラテン系の人々の受刑者の比率も、同じ期間に増加していた。しかし黒人ほどではなかった。これは黒人と違いラテン系の人々に対する量刑が州によって大きく異なるためと思われた。例えばイリノイ州では、黒人とラテン系の人々は白人よりも量刑が重かったが、テキサス州では白人とラテン系の差がなかった。

教訓

2021年末までに、黒人とラテン系の人々の受刑者の比率はパンデミック前に戻った。しかし、今回のような事態に直面した時に司法システムが人種差別を引き起こさないようにする対策が必要と論文の著者らは主張している。

エール大学の歴史学者エリザベス・ヒントン氏は「誰が刑を受けるべきか、そしてその重さをどうするかを考え直すべきだろう。そうしなければ、刑務所システムにおける放置できない人種差別を解消することはできない」と述べた。

ブラウン大学の社会学者ニコル・ゴンザレス・ファン・クリーブ氏は、これらの知見を踏まえて、人種差別をなくするための対策を政策決定者に要求することが必要だと語った。

歴史的に特定の人種の人々に不当に重い量刑が科せられたことを踏まえるならば、それまで犯罪とされてきた一定の行為を合法的なものと解釈して、過去の不平等を償う「安全弁」的対策を行うことも必要かもしれないと彼女は語った。「今回の論文が持つ大きな意義は、逮捕率や釈放率が同じでも、量刑の人種差が人種差別維持に大きな影響を持っていたことが明らかにされた点だ」

論文の著者らは、米国では州によって刑務統計の方法が異なるため、データの集計解析に大きな障害となったことを指摘しており、統計方法の統一の必要も語っている。